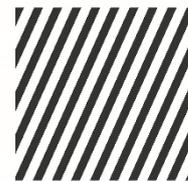


地域活動の活性化に向けたワークショップ

# 福井地区ニュースレター

Vol.02 令和4年9月

次なる  
茨木へ。



福井地区では、「**”住み続けたいまち”**を目指して、**福井地区の未来を考えよう**」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和4年9月11日（日）に開催した第2回のワークショップでは、第1回のグループ分けを引継ぎ、前回各グループで決定した**まちづくりの将来像・スローガン**を実現するための**取組みの方向性**と**将来像を実現するためのアイデア**を考えるワークショップを行いました。

## ワーク1：「将来像」を実現するためのテーマと取組みの方向性を考えよう

ワーク1では、各グループが目指すまちづくりの将来像・スローガンを実現する上で**重要なテーマ**は何か、またそのテーマの中で、**どのような方向性の取組みが必要か**について、意見を出し合いました。ワーク2で具体的なアイデア出しを行っていく前に、各グループで**大きな方向性を共有**することを目標に、グループワークに取り組みました。

### ○絞り込んだ将来像を実現するための重要テーマ

#### グループ1

**目指す将来像：「みんなが集まるたまり場と若い人が住める場のある福井のまちづくり」**

- テーマ① 住んでいる人の居場所づくり
- テーマ② 若い人を呼び込めるアクション
- テーマ③ 空き家と空き地の活用を促進する活動

#### グループ2

**目指す将来像：「生活の利便性と歴史・緑の共存する福井」**

- テーマ① 子どもが誇れる好きになれるまち
- テーマ② 持続可能な顔が見える繋がり

#### グループ3

**目指す将来像：「ヒト・モノ・自然を活かした福井づくり」**

- テーマ① 地域内での連携・協力
- テーマ② 農業や自然
- テーマ③ 若い人の参加

#### グループ4

**目指す将来像：「みんながより関わり支え合う福井」**

- テーマ① 行事（各団体が連携している）
- テーマ② 役員（みんなが役割を分担している）
- テーマ③ 告知（行事情報が行きわたっている）
- テーマ④ 参加人数（参加人数が増えている）

### ◆第2回実施概要

日時 2022.9.11(日) 13:30~15:30  
会場 福井公民館  
参加者数 23人

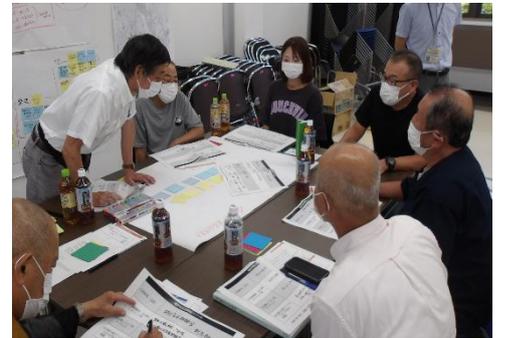
#### プログラム

- 1 会長挨拶
- 2 前回の振り返り
- 3 色紙ゲーム（アイスブレイク）
- 4 ワーク①：「将来像」を実現するためのテーマと取組みの方向性を考えよう
- 5 ワーク②：現在の課題を整理して「将来像」を実現するためのアイデアを考えよう
- 6 グループ発表（全体共有）

## ワーク2：現在の課題を整理して「将来像」を実現するためのアイデアを考えよう

ワーク2では、ワーク1で絞り込んだ将来像を実現していく上での重要テーマに関する、「現在の活動」を振り返りながら、現状抱えている課題や悩みを改善するための具体的な取り組みアイデアを出し合いました。

「福井っ子が福井を Youtube で発信」といった実現が楽しみなアイデアや、高齢者の居場所づくりと、放課後子ども教室の人材不足解消のため、「放課後の学校に高齢者の居場所づくりを」というちょっとした工夫のアイデアなど、各グループでたくさんのアイデアが出されました。



### ○各グループの話し合い内容（抜粋）

グループ	ワーク2で出されたアイデア
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家活用による地域の居場所づくり</li> <li>・子どもと高齢者が遊び集える場づくり（放課後の学校に高齢者の居場所を）</li> <li>・地域の事情をよく知っている民生委員や福祉委員と連携した空き家活用の取組み。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと大人が地域の歴史を一緒に学ぶ歴史散策</li> <li>・年配者と若者が地域について話し合う新たな場の創設</li> <li>・福井の魅力を知ってもらうため、福井っ子が福井を Youtube で発信</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内での連携・協力を図って行くために、まずは活動の見える化を進める</li> <li>・福井を代表するブランドを作って福井を PR</li> <li>・各組織の横の連携を深め、協力して取組みを進める</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議やイベントの開催日時見直しによる地域活動の参加促進</li> <li>・負担軽減のため、各組織が別々で実施している行事を合体して開催</li> <li>・多世代交流を促進、年齢を問わない行事の実施</li> </ul>

次回、最終回のワークショップは 10月10日（月）。これまでの話し合い内容を踏まえて、アイデアを深めるヒントとなる他市事例を学びながら、将来像を実現するために実際に取り組んでいくアクションを考えるワークショップを行います。